

あいのわ

■発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会
理事長 橋本 弘
■連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4丁目30番5号
TEL:03-3849-1188 FAX: 03-3849-7001
URL <http://www.ainowa.or.jp/>
■印刷・作成 足立区大谷田就労支援センター

足立あかしあ園 綾瀬あかしあ園 舎人あかしあ園 花畠あかしあ園 神明障がい福祉施設 足立区大谷田障がい福祉施設 竹の塚あかしあの杜 あいのわ支援センター



※感染症対策を行った上で撮影をしています。

ご挨拶 理事長 橋本 弘 第15期の役員体制につきましては、安定的な経営を推進するため

に理事・監事とも従来通りとし、引き続き理事長の職を担うことになります。コロナ禍の中で制約がある状況ですが、可能な限りコミュニケーションを活発にして適切な意思決定を行ってまいります。皆様のご支援とご指導よろしくお願いいたします。

また、居宅介護支援事業所につきましては想定よりご利用者が少なく、事業を継続することは困難と判断しました。今後は高齢福祉を担う事業所との連携を密にして対応してまいります。

ご利用者のニーズや事業運営の環境は目まぐるしく変化いたします。今後も状況の変化に注意を払いつつ、必要な事業の構築を検討していきます。

変異ウイルスの感染力は凄まじく極めて厳しい状況を迎えています。引き続き感染予防対策を強化してまいります。

足立あかしあ園



足立あかしあ園の近況報告です。
Aグループは受注作業を中心とした作業に取り組む中、集団生活でのルールなどについて担当の利用者を中心ぐるープ全員で話し合いを行っています。
Bグループは花壇で、季節の花を育てたり、掲示板や自動ドアを季節に合わせたテーマで装飾をする活動を行っています。
Cグループは創作活動や調理活動で様々な素材を見て、触れる、匂いを嗅ぐなど五感を使った活動の他、作業ではそれぞれの得意な動きを活かして行なっています。また、飛沫パネルを活用し、距離感を保ちながら仕事を数回に分け、活動の参加人数を調整するなどして感染症の予防対策を行なっています。また、感染対策を実施しながら、近隣の学校や保育園に各グループでメッセージボードを作成して動画と合わせて贈ることで交流を図っています。直接関わることは難しい状況ではありますが、これまで築いてきた地域の方との繋がりを大事にしていきたいと思います。

(春日記)

新型コロナウイルスの感染が始まつてから、私達の生活、仕事、人との関り等、多くの事が変わりました。多くの制限が掛かっている状況下ではありますが、そんな中でもグループホームの利用者の皆さん、自分の楽しみを探し、好きな事を楽しみつつ、いつか「新型コロナウイルスが落ち着いたら・・・○○したい！」、「○○に行きたい！」を励みに、日々の感染対策に取り組んでいます。朝夕の検温、通所前後の消毒等今まで取り組んでいます。日々の生活におけるあたりまえを大切に、今後も取り組んでいきます。

等もいます。

また、感染対策グッズの定期的な補充、確認、こまめな館内の消毒、いくつか新型コロナウイルス陽性者が出了した場合のマニュアルの整備等に取り組んでいます。日々の生活におけるあたりまえを大切に、今後も取り組んでいきます。

（森記）

現状報告

舎人あかしあ園



利用者の方々は、近隣の散歩や自動販売機で飲み物を購入するなど、個別活動の時間を利用して施設の外に出ることが多くあります。夏場の暑い時期もその希望に変わりはありません。夏場は熱中症の危険が高いので、施設では安全面も考慮し「外出・散歩判断基準」を設け、熱中症対策も実施しています。環境省から出される熱中症指數や熱中症警戒アラートに基づき、「外出の中止」「〇分以内・半径〇m以内」等と毎日決定して事務室に掲示します。

「今日は散歩に行けるかな？」と利用者と一緒に確認をしています。

熱中症警戒アラートが出てしまって散歩に行けずに残念そうな表情を浮かべる方もいらっしゃいます。

また、引き続き感染症対策についても、飛沫防止パネルを増設して今まで以上に対策を強化しています。

(市原記)



足立区大谷田障がい福祉施設

大谷田障がい福祉施設では、例年より現場実習やバリアフリー体験等を通して、学生の方々と交流を持つ機会を設けてきました。学生に学んでもらうことはもちろん、利用者にとっても自身のことを伝える練習や、雑談でのちょっととした息抜き等、大変貴重な場となっています。

このコロナ禍で、これまで通りの実施は難しいため、現在はオンラインでの交流を進めています。

対面との違いに、利用者の方々も初めは戸惑つこともありました。しかし、現在では対面との違いを楽しむ様子も見られます。

オンラインでの取り組みはまだまだ試行錯誤しているところですが、今後は地域の方々との交流も図つていければと考えています。

新型コロナウイルスとの闘いはまだしばらく続きそうですが、法人で統一されている感染防止対策に取り組みながら、新しい日常を作つていければと考えています。

(畠山記)

綾瀬あかしあ園



リモート・パラリンピック開幕 東京オリンピック・パラリンピック開催年ということもあり、7月26日に他区の施設と合同でオンラインリモート・スポーツ大会を開催しました。綾瀬あかしあ園の他、新宿あゆみの家、デイセンターふれあい、わくわくす武蔵野の各チームが参加し、「ボウリング」「ハイパー・ワルトラーデリシャス玉入れ」「炙りカルビゲーム」などの競技を行いました。どのゲームも白熱した接戦となりましたが、僅差で勝利することができ、なんと2つの金メダルを獲得することができました！

各競技に使う道具や、聖火トーチ、金メダルなども、活動で作りました。画面越しではありますが、他施設の利用者の方や、職員の方々から拍手をもらったり、お話をするなど交流を持つことができ、外出や行事などの機会が少なくなっている中ではありますが、みんなで盛り上がり、利用者の方々の笑顔が多くみられたイベントとなりました。

（中村隆記）

神明障がい福祉施設 神明障がい福祉施設の感染対策は、出勤時の検温と手指消毒、検温は午後にも測定を行い1日2回実施しています。活動中は、各事業の看護師を中心健健康観察を行い、日々の変化を見逃さないよう対応しております。また、飛沫防止パネル等を用いるなど距離をとつた対応や介助時はフェイスシールドやゴーグル、エプロン、手袋を着用し、職員・利用者が安心して活動ができる環境づくりに日々努めています。電話機やパネル、ドア取っ手等の共有部分や各フロアの消毒も看護師を中心に日々実施しています。職員には、感染知識や意識を高めるために専門職の看護師を講師に感染症基礎講座や防護服の着脱訓練等の研修を積み重ね実施しています。通所時や活動時に発熱等の利用者が発生した場合は、感染拡大を最小限に食い止めるためのゾーニングや、各職員の役割を明確にした上で対応しています。今後も徹底した感染対策を継続して運営してまいります。

（照井記）

各施設の

花畠あかしあ園



花畠あかしあ園では、感染症対策の1つとして換気や空気清浄機の使用等に加え、開設時に後援会会長の秋山様よりご寄付頂きました空間除菌システム機器を活用しています。食品工場でも使用が可能で人には無害且つ除菌効果の高いクロラス酸水を空間噴霧し、空間除菌を行っています。また、8月20日にホームページ掲載用の写真撮影を行いました。自主生産品として販売を開始している「ハーバリウム」や「苔リウム」に加え、現在準備中のカフェ「ふおらん HANAHATA」で提供予定のメニューや施設の特色であるリフトやスヌーズレン室の撮影を行いました。利用者の皆様、支援員共にプロのカメラマンにカメラを向けられると、とても緊張しましたが、撮影スタッフの方の声掛けで、自然な表情をつくることが出来ました。ホームページが完成した際には、ぜひ皆様もご覧ください。

（橋本匠記）

竹の塚あかしあの杜



マスクが蒸し暑い季節ですが、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出に際し、一日も早い収束を願いつつ、生活の様々な場面で影響を受けている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当施設では、現在も感染防止対策として、全従業者を対象としたPCR検査の実施（毎週）、旅行や行事等の中止、ご家族を含む外来者の入館制限等を実施しております。また、職員においても不要不急の外出や三密場所への外出等を自粛しており、こうした取り組みが「感染者0」の結果につながっているのだと思います。この様な状況の中、7月18日から8月15日にかけて、入所利用者及び全支援員を対象に、新型コロナワイルスワクチン職域接種を4回にわたり実施いたしました。最近の報道にもあります通り、ワクチンを接種すれば必ずしも感染しないわけではありませんが、少しずつ先が見えるようになつてきましたと前向きに捉えています。

感染予防と安全のため、利用者およびご家族の皆様には、大変ご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力をいただき心より感謝申しあげます。

（三瓶記）

